

関市スポーツ推進計画 後期計画 《 抜 粹 》

平成27年度～平成31年

【令和3年度実績】

関市教育委員会
平成27年3月

第3章 基本的考え方

1 基本理念

スポーツは、「体を動かす」という人間の本能的な欲求に応えるとともに、爽快感、高揚感や達成感などの心理的・精神的充足感をもたらします。また、市内外の人たちとの交流やコミュニケーションを活発にし、人と人との結びつきを深めるとともに、地域の一体感を高めます。さらには、体力の向上及びストレスの解消、生活習慣病の予防など心身両面にわたる健康の保持増進に寄与します。

少子高齢社会の進展や生活が便利になり体を動かす機会の減少が予想される中、市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフを送ることは大きな意義があります。

これまで、あまりスポーツに縁のなかった勤労者や高齢者、障がいがある人々を含め、多くの市民が、ライフステージにおいて、積極的・主体的にスポーツに関わることが重要です。

【基本理念】

**「いつでも、どこでも身近で気軽に
スポーツを楽しめるまち せきし」**

～ 1市民1スポーツで“みんなでハッピーライフ”～

《スポーツの意義と役割》

- 健康の保持増進、体力の維持向上に役立ちます。
- 生活習慣病の予防、医療費の節減に寄与します。
- 精神的なストレスを解消します。
- 青少年期の人間形成等、教育的に大きな意義を持ちます。
- 人間的なふれあいを深め、地域の連帯感を醸成します。
- 爽快感や達成感、満足感等の精神的な充足感や楽しさを与えます。
- 集団の中で、自己の個性を発揮し、自己実現を可能にします。
- 観る人にも大きな感動や楽しみ、活力を与えます。
- 国際的な相互理解と友好・親善を深める役割を果たします。
- スポーツ関連産業が活性化し、経済発展に寄与します。

2 基本目標

計画の基本理念に向け、5つの基本目標を掲げます。

(1) 生涯スポーツの推進

健康で活力に満ちた生活が送れるよう、スポーツを生活の中に根付かせ、生涯にわたり、誰もが、いつでも、どこでもスポーツを楽しむことができるよう「生涯スポーツ」を推進していきます。

(2) 競技スポーツの推進

競技力向上の推進、全国的な大会において活躍できる選手・チームを育成していくとともに、「みる」スポーツを楽しむことができるよう「競技スポーツ」を推進していきます。

(3) 子どもの運動・スポーツ活動の推進

学校だけでなく、家庭や地域社会における日常生活において、自ら進んで運動・スポーツを実践できるよう「子どもの運動・スポーツ活動」を推進していきます。

(4) 支えるスポーツの推進

生涯スポーツや競技スポーツ、子どもの運動・スポーツ活動を支える指導者の育成・確保を図るとともに、多くの市民がスポーツボランティアとして関与し、活躍できるよう「支えるスポーツ」を推進していきます。

(5) スポーツ環境の諸整備

既存施設を含めたスポーツ施設の有効活用とともに、情報の提供や団体の育成など、ハード・ソフトの両面からの「スポーツ環境の諸整備」を推進していきます。

3 数値目標

日常生活の中で自主的・継続的にスポーツ活動に親しみ、誰もが、いつでもどこでも、身近で気軽にスポーツを楽しめるよう「1市民1スポーツ」を目標としていきます。

1 市民1スポーツ

本市では、成人の週1回以上スポーツをする人の割合が平成20年度で27.8%、平成26年度で37.4%となっています。前期計画で掲げた平成31年度目標値の50.0%には至っていません。

そこで、成人の週1回以上のスポーツ実施率50.0%の達成を目指し、計画を推進していきます。

成人の週1回以上スポーツをする人の割合

平成20年度
27.8%

【実績値】

平成26年度
37.4%

【実績値】

平成31年度
50.0%

【計画目標値】

令和2年度 実績

48.6%

(男性 48.9%)

(女性 48.3%)

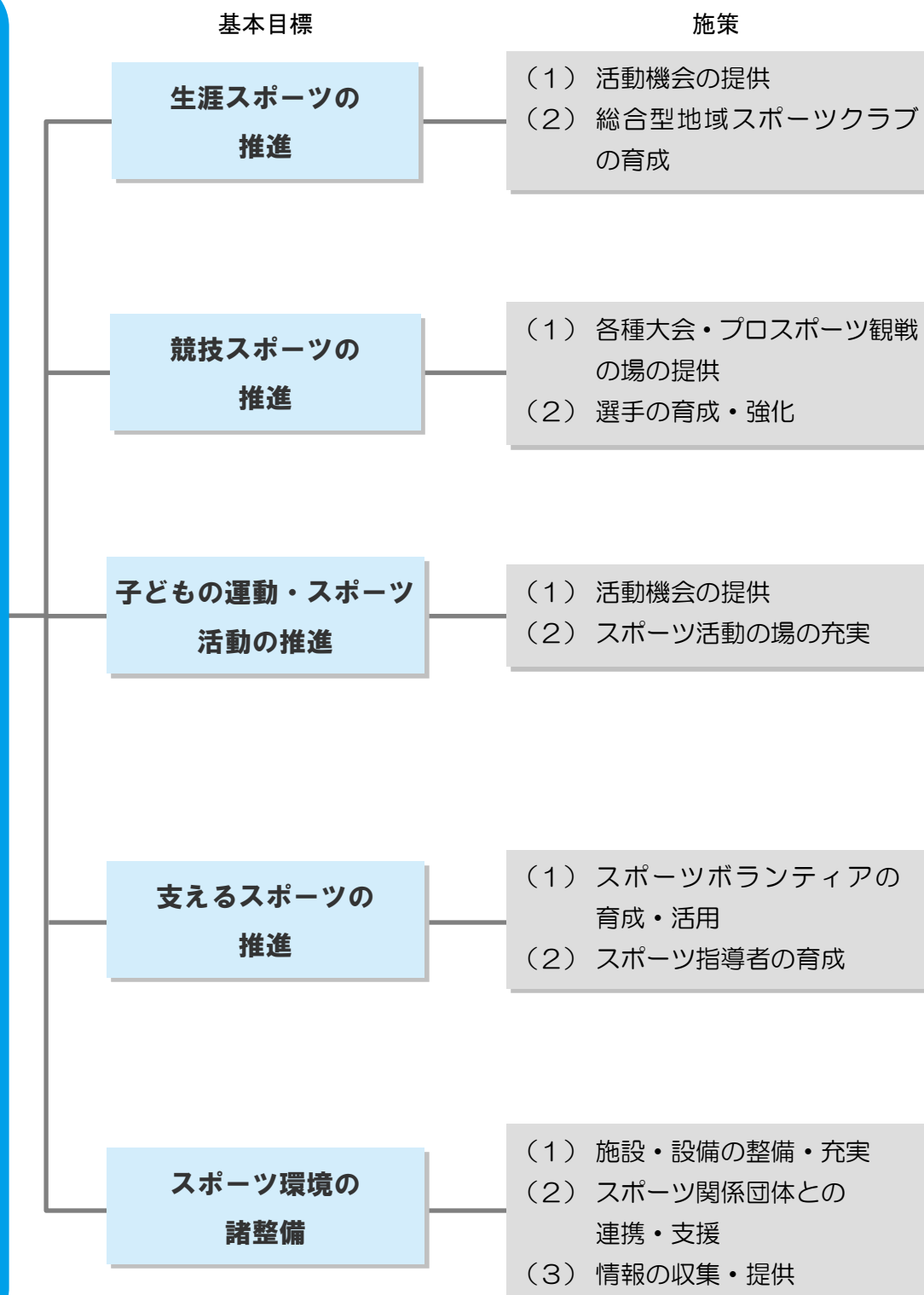
年代
内訳

	〈関市〉	〈岐阜県〉	〈全国〉
20歳代	35.3%	50.0%	58.3%
30歳代	42.2%	36.8%	55.1%
40歳代	58.0%	37.4%	52.8%
50歳代	44.8%	43.4%	54.2%
60歳代	51.7%	42.3%	65.1%
70歳以上	48.0%	59.4%	74.8%
全体	48.6%	43.7%	59.9%

4 施策の体系

基本理念

いつでも、どこでも身近で気軽にスポーツを楽しめるまち
せきし



令和2年度スポーツ推進計画の実績と評価

第4章 基本施策

1 生涯スポーツの推進

施策(1) 活動機会の提供

市民の誰もが、いつでも、どこでもそれぞれの能力や状況に応じて、手軽にスポーツを楽しみ、継続的にスポーツ活動ができる機会として、スポーツ大会や教室等を定期的を開催し、スポーツ活動ができる環境を整備していきます。

競技スポーツだけでなく、市民の健康・体力づくりのための運動を促進していきます。

また、新たなスポーツを取り入れ、市民が気軽に軽スポーツや活動などに参加できる機会を提供していきます。

高齢者や障がい者も気軽に参加できるスポーツレクリエーションなどのスポーツ活動を推進していきます。

1 身近な地域で参加できるスポーツ事業の推進

①-1 スポーツイベントの開催・内容の充実

- 多様なスポーツと関わりを持てるよう、マラソン大会や自治会対抗各種スポーツ大会、市民スポレク祭や各種スポーツ大会、講演、レクリエーションスポーツなどのスポーツイベントを開催するとともに、内容の充実を図ります。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
刈物のまち関シティマラソン	3,207人	3,018人	2,772人	中止	中止	3,200人
ほらどキウイマラソン大会	1,967人	1,850人	1,856人	中止	中止	1,850人
板取カップバイクトライアルスクール &かぶどん大会	中止	26人	28人	中止	中止	50人
関市駅伝競走大会	130チーム	141チーム	124チーム	中止	中止	140チーム
かみのほ元旦ジョギング大会	213人	208人	244人	中止	中止	220人
関市民ゴルフ大会	240人	219人	220人	中止	中止	240人

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
関市民元旦サッカー大会	56チーム	55チーム	53チーム	中止	58チーム	60チーム
関市自治会対抗ソフトボール大会	34チーム	34チーム	34チーム	中止	24チーム <small>準決勝以降中止</small>	35チーム
関市町内対抗野球大会	89チーム	89チーム	84チーム	中止	中止	90チーム
関市自治会対抗バレーボール大会	35チーム	33チーム	33チーム	中止	中止	40チーム
関市自治会対抗 グラウンド・ゴルフ大会	44チーム	49チーム	44チーム	32チーム	中止	50チーム
関市職域野球大会	37チーム	39チーム	34チーム	中止	中止	45チーム
関市民友好職域バレーボール大会	9チーム	10チーム	10チーム	中止	中止	15チーム
つぼがわスポレク祭	238人	中止	廃止	廃止	廃止	—
スポーツ教室の開催	19講座 528人	25講座 646人	21講座 496人	15講座 321人	13講座 291人	27講座 700人
いきいき軽スポーツの促進 (ひまわり軽スポーツの集い)	100人	55人	100人	廃止	廃止	100人
せきサイクル・ツーリング in 津保川	501人	518人	518人	中止	中止	500人
せきサイクル・ツーリング in 板取川	505人	528人	515人	中止	中止	500人

◎令和2年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、殆どのスポーツイベントや大会が中止となりました。開催ができた一部のスポーツイベントも、人数制限や規模の縮小など、様々な感染防止策を徹底し開催しました。
 スポーツ教室では新規の教室を企画するなど、参加者増加につながる計画をしましたが、こちらもイベントや大会と同様に新型コロナウイルスのため多くが中止となりました。
 また、いきいき軽スポーツの促進（ひまわり軽スポーツの集い）については、令和元年度の開催を最後に催しが廃止となっています。

① -2 新たなスポーツイベントの開催

- ・新たなスポーツや市内で行われているスポーツを事業として取り入れ、市民がスポーツを行うきっかけづくりの提供を図ります。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
刃物のまち関シティマラソン オンライン大会	—	—	—	495人	495人	500人
市制70周年記念 たすきリレー	—	—	—	中止	—	1,000人
チャレンジデー	37,933人	45,942人	47,512人	中止	36人 (2回)	47,000人
スポーツ講演会	300人	100人	250人	中止	中止	300人
ふどうの森トレイルラン	218人	281人	325人	中止	285人	—

◎令和2年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止により関シティマラソンが中止となりましたが、代替えのオンラインマラソンを開催しました。
また、ふどうの森トレイルランは、新型コロナウイルス感染者の減少を待ち、開催日を5月に延期し開催されました。

①-3 多様な媒体を活用したスポーツイベントの周知

- ・スポーツイベントへの参加者数や参加チームが増えるよう、市ホームページや広報せきに加えて、チラシの発行など、多様な媒体を用いてスポーツイベントを周知します。

○広報せきや市ホームページを活用したスポーツイベントの情報提供
(市主催イベント以外にも関市スポーツ協会に加盟する団体等が行うものも広く提供)

◎「広報せき」に多くの記事を掲載し、関市スポーツ協会へ委託しているイベントや教室、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、その他スポーツ関連のイベントについて周知しました。
また、ホームページでは新型コロナウイルス感染症によりスポーツ活動機会が減少している状況を鑑み、自宅で行える運動・スポーツの紹介をしています。
今後も「広報せき」やホームページ、市民に配信する「関市あんしんメール」などを活用した情報提供を継続していきます。

2 健康・体力づくり運動の促進

②-1 ウォーキングイベントの開催

- ・生涯にわたる健康的な生活習慣の一貫として、スポーツを根付かせ、健康・体力づくりの運動を促進します。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
はもみん・はつらつウォーキング (春季・夏季・秋季・冬季)	386人	53人	172人	155人 (秋)	120人 (秋・冬)	400人 (4回)

◎例年、年間4回の開催を計画している「はもみん・はつらつウォーキング」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、秋季と冬季の2回の開催となりました。

- ・秋季 「紅葉の美濃清水、高澤観音へ」をテーマに開催
- ・冬季 「中池公園ウォークラリー」として開催

「広報せき」やホームページ、あんしんメール、募集チラシなどにより、参加者増加を狙い、広く周知活動を行いました。

3 子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進

③-1 託児サービスの提供促進

- 子育て中の親が安心してスポーツ活動に取り組めるよう、総合体育館等で開催するスポーツ教室やスポーツイベントにおいて託児サービスの充実を図るとともに、その普及に努めます。

◎スポーツ教室では託児サービスを実施しており、令和3年度のスポーツ教室では、14教室（中止した教室含む）を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1教室1名の方の申込みとなってしまいました。今後も子育て中の方にも、安心して積極的にスポーツに取り組んでいただけるよう、託児サービスを継続していきます。

③-2 総合体育館での夜間のスポーツ教室開催

- 働き盛り世代が仕事帰りにスポーツに取り組めるよう、総合体育館での夜間のスポーツ教室を実施します。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
夜間のスポーツ教室	5講座	11講座	10講座	6講座	3講座	12講座

◎夜間（夕方含む）のスポーツ教室を多く取り入れて、参加者の拡大を図る計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度より開催講座数が減少してしまいました。

4 高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進

④-1 レクリエーションスポーツ等の開催

- 高齢者や障がい者が気軽に参加できるレクリエーションスポーツ等を通じて、高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進を図ります。また、スポーツ推進委員等を通じて市主催のスポーツ活動への参加を呼びかけ、高齢者や障がい者の健康と生きがいを支援します。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
シニアゲートボール大会	23チーム	18チーム	18チーム	18チーム	10チーム	20チーム

◎前年より参加チーム数が減少となりましたが、大会の開催を安易に中止することなく、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底して開催しました。
また、今後も高齢者のスポーツ活動機会増加のため、市内のゲートボール場などをグラウンド・ゴルフでの利用者へ開放します。

④-2 障がい者との連携・交流促進

- ・スポーツ大会において、障がい者と健常者が、スポーツを通じて交流が図られるように努めます。また、スポーツ大会開催者と障がい者との連携強化に努めます。

○刃物のまち関シティマラソンへの障がい者の参加

◎今までシティマラソンでは手話の対応、車いすでの参加を継続して行ってきました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により大会などが中止となっていますが、今後も引き続き、障がい者の大会参加やボランティア参加などについて、県内の関連施設に案内を行い、障がい者の方が参加しやすい大会環境を整えていきます。

※障がい者の大会参加料は半額

施策(2) 総合型地域スポーツクラブの育成

総合型地域スポーツクラブは、多種目・多世代・拠点施設を持つなど、会員の自主運営で営まれているクラブです。子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、育成していきます。

また、クラブの運営に必要な経営能力を有する人材をはじめ、各種目の実技指導者、スポーツボランティアなど、必要な人材を育成し資質向上を図ります。

■市内の総合型地域スポーツクラブの概要（岐阜県認定クラブ）

令和3年3月31日現在

クラブ名	設立年	会員数	主な活動場所
NPO 法人 キウイスポーツクラブ	平成 10 年度	82 人	洞戸小学校体育館、 板取川中学校体育館など
せきスポーツクラブ	平成 14 年度	116 人	関市総合体育館、 中池体育館など
上之保ほほえみスポーツクラブ	平成 19 年度	1,212 人	上之保川合体育館、 上之保生涯学習センターなど
せき西部ふれあいスポーツクラブ	平成 23 年度	270 人	小金田中学校体育館 千疋体育館など
中部学院大学スポーツカレッジ	令和元年度	100 人	中濃地域のスポーツ施設など
倉知スポーツクラブ	令和元年度	76 人	片倉グラウンド・中池公園 倉知ふれあいセンターなど

1 総合型地域スポーツクラブの設立支援

①-1 総合型地域スポーツクラブの設立支援

- スポーツをみたり体験したりする機会を提供するために、総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

○新たなスポーツクラブの設立支援

◎令和元年に中部学院大学スポーツカレッジが設立され、市内の総合型地域スポーツクラブが6団体となりました。

また、中部学院大学スポーツカレッジ、倉知スポーツクラブの両クラブが、令和2年10月に総合型地域型スポーツクラブとして岐阜県に認定されました。

2 総合型地域スポーツクラブの育成支援

②-1 定期的なクラブ訪問の実施

- それぞれの総合型地域スポーツクラブが問題や課題を抱えていないかどうかをクラブ訪問により把握し、問題や課題の早期発見と解消に努め、クラブの活性化を図ります。

○岐阜県スポーツ協会のアドバイザー等とのクラブ訪問・アドバイス

◎総合型地域スポーツクラブが開催するイベントや教室などの事業について、支援を行い活動に協力してきました。

②-2 クラブへの研修会等の機会の提供

- 総合型地域スポーツクラブがより自立的に活動し、住民が身近な場所でクラブに参加し、スポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブに対する研修や事業委託などの支援を行います。
- クラブを組織的に運営（コーディネート）していく人材を養成していくため、県主催の講習会等を案内し、参加促進を図ります。

○総合型地域スポーツクラブへの岐阜県主催の啓発研修会の案内

○岐阜県主催の指導者研修会の案内

◎県が主催する研修会へ、市内のクラブ関係者が出席するよう連絡調整を図った。

2 競技スポーツの推進

施策(1) 各種大会・プロスポーツ観戦の場の提供

スポーツイベントや競技大会、試合の開催は、市民が「みる」スポーツをきっかけとして、スポーツを行うことへの動機付けともなります。

また、トップで活躍している一流スポーツ選手の技術を身近に観戦できることや、体験を直接伝えてもらうスポーツ教室等の開催は、スポーツへの関心や興味を高める機会になるとともに、技術力向上へとつながります。

1 スポーツ観戦の提供

①-1 スポーツイベント・競技大会・試合の開催

- ・スポーツイベントや大会、試合の開催を積極的に支援するとともに、市民のスポーツへの関心や興味を高める機会としていきます。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
カローリングジャパンカップ	54 チーム	52 チーム	48 チーム	中止	中止	60 チーム
カローリング日本平成村カップ	40 チーム	中止	38 チーム	中止	中止	36 チーム
ラグビーイベント(トップチーム誘致)	—	1,500 人	—	—	—	—
ラグビー南アフリカ代表関市キャンプ公開練習	—	—	2,000 人	—	—	—

◎武儀地域で継続的に開催をしていましたカローリング大会は、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

①-2 関市ラグビーフットボールフェスティバルの開催

- ・市とスポーツ協会との連携により、関市ラグビーフットボールフェスティバルを今後も継続して開催します。
- ・今後は、小中学生や高校生だけでなく、高齢者や障がい者にも参加と観戦の対象を広げていきます。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
ラグビーフットボールフェスティバル	2,000人	100人	1,000人	100人	中止	2,000人

◎令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を施して開催をしましたが、令和3年度は感染状況を考慮し中止となりました。
 今後も引き続き、スポーツ協会や関市ラグビーフットボール協会などと連携して、魅力的なフェスティバル開催について努めていきます。

2 一流スポーツ選手によるスポーツ教室の開催

②-1 プロ・アマチュアスポーツの誘致

- ・一流スポーツ選手によるスポーツ教室を開催し、競技への関心を高めるとともに、技術力の向上を図ります。

○一流スポーツ選手によるバスケットボールやバレーボールなどの試合を誘致し、スポーツ教室等の開催

◎新型コロナウイルス感染症の状況により試合の誘致が困難となり、未開催となりました。

施策(2) 選手の育成・強化

競技力向上対策については、基本的には各競技団体が自主的・計画的に強化策を展開していますが、各競技種目からなるスポーツ協会と連携を図り、選手の育成・強化を推進するために、小学生から成年までの一貫した育成・強化を計画的に展開していきます。

1 競技力向上への事業の展開

①-1 各競技団体への支援

- ・国際大会、全国大会で活躍できる選手育成のため、各競技団体の強化策に対して支援事業を進めていきます。

○各競技団体の強化策に対する支援の実施

※スポーツ協会事業

①-2 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の育成

- ・スポーツ協会と連携して、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍する市民の輩出に向けて、選手の育成・強化を図ります。

○オリンピック・パラリンピック強化指定選手の支援の検討

◎岐阜県に指定された強化指定選手の中から、関市の選手に対して活動助成金を交付しています。令和3年度は、令和2年度と同様に該当がありませんでした。

※令和元年度は1名指定（アーチェリー）

今後も、選手の活動の場を提供して選手の育成・強化を図っていきます。

2 トップアスリートとの交流

②-1 子どもたちとトップアスリートとの交流

- ・トップアスリートからの助言や指導を受けることで、技術力の向上や競技人口の拡大につなげるため、小学校への訪問等、トップアスリートと連携した事業を検討していきます。

○ふるさと応援アスリート制度の運用

◎令和元年度よりプロゴルファーを講師として、市内の小学校でスナックゴルフ教室を開催してきましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

また、中日ドラゴンズOB選手による市立保育園児を対象にした野球教室、FC岐阜の選手によるスポーツ少年団を対象としたサッカー教室も開催しています。

これらの事業は今後も継続的に開催していきます。

3 子どもの運動・スポーツ活動の推進

施策(1) 活動機会の提供

子どもが外遊びや運動に親しみ、その楽しさや喜びを味わうことは、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくりにきわめて重要です。子どもたちが運動やスポーツに親しむことができる機会の充実を図っていきます。

子育て世代の週1回以上のスポーツ実施率が低いことから、子育て中の親が子とともに、楽しみながら参加できるスポーツ活動の機会を提供します。

1 親子での運動・スポーツ機会の充実

①-1 親子で楽しむ運動・スポーツ教室の開催

- ・親がスポーツをすることで、子どもと一緒にスポーツをするきっかけをつくるため、親子で楽しめる運動・スポーツ教室を開催します。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
親子わんぱく体操	2講座 102人	2講座 98人	2講座 82人	1講座 50人	1講座 24人	2講座 100人

◎2・3歳児の親子を対象にして開催しました。参加者からは、「教室で習ったことを家で実施してくれるので嬉しい」などの意見をいただいています。
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1講座のみの開催となり、参加人数が減少しました。

①-2 運動・スポーツの役割や楽しさを学ぶ機会の提供

- ・子育て中の親を対象として、子どもに運動・スポーツを体験させる大切さや、親子で楽しく実践できる運動・スポーツについて学ぶ研修会等の開催を検討していきます。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
親子スポーツ教室	2講座 31人	2講座 52人	2講座 40人	1講座 18人	1講座 8人	2講座 100人

○親子向け事業の検討

◎4～6歳児を対象にして開催を計画し、スポーツについて保護者が子どもとどのように関わっていくかなどを学んでいただきました。参加者からは「学ぶことが多くあり、大変充実した講座でした」などの意見をいただいています。
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1講座のみの開催で参加人数が減少しました。

2 子どもの運動・スポーツ機会の充実

②-1 運動・スポーツの体験教室の開催

・子どもの運動能力を向上させるために、運動・スポーツの体験教室を開催します。

事業名	H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	目標
ジュニアスポーツ教室	2講座 62人	2講座 60人	2講座 108人	1講座 30人	1講座 16人	2講座 100人

◎教室は子どもが一般的に苦手とする、鉄棒やマット、跳び箱、縄跳びなどの種目中心に行い、個人ごとに上達する方法などのアドバイスをし、子どもや保護者に好評でした。参加者からは「参加者の中で、できる子とできない子の差が激しい。できない子だけを集めて特別な指導があると嬉しい。できなくても楽しく参加できて良かった」などの意見をいただいています。今後も継続的に開催していきます。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1講座のみの開催で参加人数が減少しました。

施策(2) スポーツ活動の場の充実

運動・スポーツの日常化のため、子どもたちに身近な場所において、運動・スポーツを行える環境を整えます。

地域においては、子どもたちに豊かなスポーツ体験の場を提供する体制整備が必要となっています。

1 地域におけるスポーツ活動の場の確保

①-1 スポーツ関係団体との連携

・地域でスポーツを行いたい子どもたちのスポーツ活動の場を確保するために、スポーツ関係団体との連携を図ります。

○各種目競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブと連携を図ることで、子どもたちのスポーツ活動の場を確保

◎4月にスポーツ少年団加入の案内チラシを小学校を通じて児童へ配付。スポーツ教室の受講者などへは、総合型地域スポーツクラブの案内を行いました。

2 学校施設の開放

② -1 学校施設の開放

- ・小中学校の体育施設は、地域のレクリエーションスポーツ活動の中心となる施設であることから、児童・生徒をはじめ、より多くの地域住民が利用できるよう、より効率的な開放を図っていきます。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
学校施設（体育館・グラウンド）の地域開放	28 施設	28 施設	28 施設	28 施設	27 施設	—

◎令和2年度は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発出などにより、施設の使用禁止期間や使用時間の制限を設けていましたが、令和3年度はスポーツ活動機会を増やすため、特別な制限は設けず各団体に感染予防チェックシートの提出や使用後の消毒などを徹底してもらい、通常どおり貸出しを行いました。

4 支えるスポーツの推進

施策(1) スポーツボランティアの育成・活用

平成28年の第70回全国レクリエーション大会in岐阜、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック、第33回全国健康福祉祭岐阜大会(ねんりんピック)の開催を契機として、市民のスポーツに対する関心が高まることが予想されます。

この関心の高まりを生かし、スポーツボランティアの育成やスポーツボランティア活動の活発化を図ることで、「支える」スポーツを推進していきます。

※2020東京オリンピック・パラリンピックは2021年に延期となり、ねんりんピック岐阜2021は2021年の開催が中止となって、再度、2025年に開催されることになりました

1 スポーツボランティアの育成・活用

①-1 スポーツボランティアの育成

- ・スポーツボランティア登録制度を活用して、スポーツボランティアについての講習会の開催等を行い、スポーツボランティアの育成を図ります。
- ・講習会等を通じて、スポーツボランティアの役割や意義などを伝えます。

○講習会等の開催

◎スポーツボランティアの育成を図るため、大会やイベントに合わせた研修会や救命救急講習会を予定していましたが、大会中止に伴い未実施となりました。

①-2 スポーツボランティアの活用

- ・各種スポーツイベントやスポーツ大会等において、スポーツボランティアが活動するための機会を設けます。

○スポーツボランティアの活動の場の提供

◎関シティマラソン等の大会やイベントで、例年、多くの方にボランティア活動をしていただいておりますが、大会などの中止により、令和3年度は活動の場を提供できませんでした。

①-3 スポーツボランティアの普及

- ・スポーツボランティアの役割や意義等について、市民にあまり認知されていないため、スポーツボランティアに関する情報を発信し、普及に努めます。

○「広報せき」やホームページによるスポーツボランティア登録制度のPR

◎「広報せき」にスポーツボランティアの募集記事を掲載しました。

年間を通して募集をしましたが、令和3年度は新規での応募がありませんでした。

今後も引き続き情報発信を行い、ボランティアの方が参加したい種目や内容に合わせて、新規登録者の確保に努めます。

2 学校との連携によるスポーツボランティア活動の推進

②-1 中高生や大学生によるスポーツボランティア活動の推進

- ・市内の中学校や高校、大学との連携を図りながら、各種スポーツイベントやスポーツ大会などで、ボランティアが体験できる機会を設け、将来の担い手となるスポーツボランティアとして育成します。

○刃物のまち関シティマラソン、せきサイクル・ツーリング、関市駅伝競走大会、中濃駅伝大会での学生ボランティアの活用（ボランティアの活動内容を具体的に示して募集）

◎中部学院大学、岐阜医療科学大学の学生、市内の高校、中学校の生徒に、学生ボランティアとしての募集を行う予定をしておりましたが、令和3年度は、大会やイベントなどの中止により募集を行えませんでした。

今後は、より多くの学生に参加していただけるよう取り組んでいきます。

施策(2) スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者は、スポーツのノウハウだけでなく、スポーツの楽しさを伝えるなど、スポーツを広く普及させていく上で重要な役割を担っています。

市のスポーツ推進委員は、これまで地域スポーツの推進に大きな貢献をしてきました。今後も総合型地域スポーツクラブの育成等において、その果たすべき役割はますます重要となるため、資質の向上に努めていきます。

また、スポーツ指導者の資格を持つ人が、市のスポーツ行事等において活躍できる場づくりを進めます。

1 スポーツ推進委員の育成

①-1 スポーツ推進委員の資質向上

- ・地域住民のスポーツ推進に関し、実技指導や助言、地域組織の育成などの役割を担うことから、正しい知識を持ち、正しく指導ができるよう、研修会等への参加の促進及び支援をしていきます。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
スポーツ推進委員の研修会	8回	8回	8回	2回	3回	8回

◎令和3年度はスポーツ推進委員の研修会を3回実施しました。

研修会では、推進委員の役割や任務、体力測定の方法、軽スポーツのルールなどを学習し、推進委員のスキルアップに努めました。

例年開催されている、美濃地区スポーツ推進連絡協議会研修会、東海四県スポーツ推進委員研究大会、全国スポーツ推進委員研究協議会などの研修会は中止となり、前年に続き、開催回数は減少しました。

2 スポーツ指導者の活動機会の創出

②-1 スポーツ指導者の活動機会の創出

- ・スポーツ指導者の資格を持つ人が、市主催のスポーツ教室や地域でのスポーツ活動において、指導できる場や活躍できる場を設けます。

- スポーツ推進委員によるスポーツ教室の開催
- スポーツ推進委員によるチャレンジ・ザ・スポーツの開催（月1回）
- 各種スポーツ協会による市民向けスポーツ教室の開催（ソフトテニス、剣道、ボウリング、アーチェリー等）

◎スポーツ推進委員による出前講座は3回計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全てが中止となりました。

また、スポーツ協会が加盟団体とともに自主事業として開催する教室は、一部を中止としましたが、フレッシュ体操、トレッキング、里山ウォーキングの3教室を開催しました。

なお、募集については、広く周知するため「広報せき」、関市スポーツ協会ホームページを活用しました。

5 スポーツ環境の諸整備

施策(1) 施設・設備の整備・充実

身近な施設で気軽にスポーツを楽しみ、健康であり続けたいと望む気持ちは市民の多くが抱いている願いです。一方、年齢や体力に応じたスポーツを自ら進んで継続的に楽しむための施設・設備の整備・充実や既存施設の利活用が重要です。

1 学校施設の開放

①-1 学校施設の開放【再掲・3-(2)-②-1】

- ・小中学校の体育施設は、地域のレクリエーションスポーツ活動の中心となる施設であることから、児童・生徒をはじめ、より多くの地域住民が利用できるよう、より効率的な開放を図っていきます。

2 誰もが利用しやすい施設の整備

②-1 総合体育館の一般開放

- ・総合体育館メインアリーナを一般開放するとともに、多くの市民の利用促進を図るため、周知の強化を図ります。

事業名	H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	目標
総合体育館の一般開放	18回 977人	23回 1,236人	21回 1,204人	8回 214人	5回 131人	23回 1,400人

◎スポーツ推進委員が毎月2回の一般開放を計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で体育館の閉鎖や緊急事態宣言発出があり、大半が中止となりました。なお、体育館の一般開放では、単に施設の開放を行うだけではなく、用具などの貸出や種目の指導を実施し、スポーツ活動のきっかけづくりや健康推進、スポーツをとおした交流機会の創出を努めました。

②-2 安全・安心のスポーツ環境づくり

- ・既存の体育施設、広場や公園等の安全確保や、自然を活かしたウオーキングコースづくりなど、安全で人にやさしいスポーツ環境づくりを検討します。

○ウオーキングコース表示整備

◎市内に設置してあるウォーキングコース表示板の維持管理を行いました。

②-3 スポーツ施設の構造・設備の改修

- ・公共スポーツ施設における段差の解消や手すりの設置など、可能な限り、施設の構造・設備の改修を進め、高齢者や障がい者にとってスポーツやレクリエーションに参加しやすい環境を整備します。

○公共スポーツ施設の改修

◎関市民球場が改修工事により、両翼98m（改修前91m）、センター122m（改修前120m）、フィールドの人工芝化、ベンチやロッカールーム、トイレなど、多くの設備が一新されました。また、施設名称もネーミングライツにより「河上薬品スタジアム」となりました。

この他にも洞戸テニスコートなどの施設も、随時、改修工事や修繕を行い、全ての利用者に安心して安全に使用していただける環境整備に努めました。

施策(2) スポーツ関係団体との連携・支援

スポーツ活動をより充実させるには、行事や大会等の活動プログラムの提供や練習・大会等の会場確保、会員を確保するための協会やクラブといった組織が必要となります。それぞれの団体やクラブが自主的な運営のもとで、充実した活動を展開できるよう協力・支援をしていきます。

選手の育成・強化についても、基本的には各競技団体やクラブが自主的・計画的に実施していきなかで、必要に応じた各競技団体やクラブへの支援をしていきます。

1 スポーツ関係団体との連携・支援

①-1 スポーツ協会との連携

- ・スポーツ協会と連携することにより、各種スポーツ教室やスポーツ大会を充実していきます。

○各種スポーツ教室の充実

○自治会対抗スポーツ大会の充実

◎スポーツ教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた 29 講座のうち 19 講座の開催となりましたが、世間の流行なども勘案して、常に多くの方に参加していただける教室開催について、スポーツ協会と連携し、企画、運営を行いました。また、自治会対抗スポーツ大会では、ソフトボールの途中で中止の除き、野球、バレーボール、グラウンド・ゴルフの全ての種目が中止となってしまいました。

①-2 スポーツ関係団体の自主的な活動支援

- ・スポーツ協会やスポーツ少年団等への自主的な活動の支援を行います。

事業名	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	目標
スポーツ少年団の育成 (加入する児童の割合)	21.5%	23.3%	23.3%	23.5%	22.6%	22.0%

◎新型コロナウイルス感染症の影響により活動が休止とならないよう、全団に対してアルコール消毒液を配布して、感染防止対策を徹底するよう指導を行いました。各加盟団体の育成と組織強化、競技力の向上を図っていただくため、関市スポーツ協会へ 950 万円、スポーツ少年団へ 220 万円の補助金を交付しました。

施策(3) 情報の収集・提供

市民にわかりやすい情報を提供するためのシステムや、スポーツ施設予約システムの構築を検討するとともに、これらのシステムを通して利用者の声を聴き、市のスポーツ推進に活かせるよう努めます。

1 スポーツ情報コーナーの設置と充実

①-1 スポーツ情報コーナーの設置箇所の拡充

- ・総合体育館のほか、図書館、支所の窓口などにもスポーツ情報のコーナーを設置し、誰でも気軽に閲覧できるよう整備します。冊子等の定期的な更新に努めます。

○スポーツ情報コーナー等の設置

◎総合体育館の受付カウンターに、ウォーキングのパンフレットやヘルスマイレージ、ミリオンウォーキングの応募などに関する情報コーナーを設けています。

①-2 スポーツ情報コーナーの周知

- ・スポーツ情報コーナーが多くの人に利用されるよう、「広報せき」やホームページ等を活用してPRします。

○「広報せき」、市ホームページ等でのPR

◎総合体育館をはじめ、各施設に来館された方の目に付きやすい場所に情報コーナーを設けて、イベントなどの情報発信を行いました。

2 インターネット活用による情報提供

②-1 スポーツ施設予約システムの構築

- ・利用者登録により、家庭のパソコンか携帯電話などを使って公共施設の抽選申込みや利用申込み、空き状況の照会ができる施設予約システムの構築を検討します。

○予約システム構築の検討

◎公共施設予約システム「せきとるnet」の運用が開始され、スマートフォンやパソコンなどの情報端末からインターネット回線を通じて、いつでもどこからでも施設予約が可能となり、施設利用者の利便性向上に努めました。
また、施設利用の申込みが殺到し競争率が高い一部の施設では、公平性を保つため、「せきとるnet」に抽選申込みの機能も構築しました。

②-2 市ホームページの充実と定期的な更新

- ・スポーツに関する様々な情報を集約し、目的別に情報が得られるホームページを作成し、その活用を図ります。ホームページの定期的な更新に努めます。

○市ホームページ「暮らしの情報」でスポーツ情報を発信

◎「暮らしの情報」を市民の方が見やすいよう随時更新をしました。

3 効果的な広報の充実

③-1 多様なスポーツ情報の発信

- ・地域に根付いているスポーツ活動や市内の優れたスポーツ指導者等の情報を収集し、広く周知します。

○スポーツ情報の発信

◎スポーツ協会と協力し、スポーツ協会のホームページで様々な情報を提供しました。

② -2 スポーツ特集号の発行

- ・市民のスポーツに対する関心を高めるため、「オリンピック・パラリンピック特集」、「ラグビー特集」など、近く開催が予定されている国際大会など、今、旬なテーマを題材にしたものや、「子育て世代向けのスポーツ」、「高齢者向けのスポーツ」などターゲット別のスポーツを題材にした、スポーツ特集号を定期的に発行しています。

○スポーツ特集号の発行

◎市民のスポーツに対する関心を高めるため、「広報せき」やホームページ、SNSなどを活用し、常時、フレッシュな情報発信を行いました。
また、スポーツ推進委員による「スポ推せき」の発行も行いました。